

他の国家資格における国家試験の出題範囲等

資格名 項目	医師	薬剤師	管理栄養士	精神保健福祉士
試験の科目 (平成28年度)	臨床上必要な医学及び公衆衛生に関して、医師として具有すべき知識及び技能	[7科目] ①物理・化学・生物 ②衛生 ③薬理 ④薬剤 ⑤病態・薬物治療 ⑥法規・制度・倫理 ⑦実務 ①～⑥の科目からは、必須問題、一般問題(薬学理論問題及び薬学実践問題)として出題される。 ⑦の科目は、必須問題及び一般問題(薬学実践問題)として出題される。	[9科目] ①社会・環境と健康 ②人体の構造と機能及び疾病の成り立ち ③食べ物と健康 ④基礎栄養学 ⑤応用栄養学 ⑥栄養教育論 ⑦臨床栄養学 ⑧公衆栄養学 ⑨給食経営管理論 なお、上記に加えて分野横断的な設問として応用力問題が出題される。	[17科目] ①人体の構造と機能及び疾病 ②心理学理論と心理的支援 ③社会理論と社会システム ④現代社会と福祉 ⑤地域福祉の理論と方法 ⑥福祉行政と福祉計画 ⑦社会保障 ⑧低所得者に対する支援と生活保護制度 ⑨保健医療サービス ⑩権利擁護と成年後見制度 ⑪障害者に対する支援と障害者自立支援制度 ⑫精神疾患とその治療 ⑬精神保健の課題と支援 ⑭精神保健福祉相談援助の基盤 ⑮精神保健福祉の理論と相談援助の展開 ⑯精神保健福祉に関する制度とサービス ⑰精神障害者の生活支援システム ※なお、社会福祉士である者については、その申請により上記試験科目のうち①から⑱が免除される。
試験形態	筆記試験(3日間) ○500問(五肢択一、多肢選択式等) ・必修問題100問 (一般・臨床実地 各50問) ・医学総論・各論 各200問 (一般・臨床実地 各200問)	筆記試験(2日間) ○345問(五肢択一又は多肢選択式) ・必修問題 90問 ・薬学一般問題 105問 ・薬学実践問題 150問	筆記試験(1日) ○200問(五肢択一又は四肢択一)	筆記試験(1日) ○163問(五肢択一又は多肢選択式)
試験時間	1日目:285分 2日目:300分 3日目:335分 合計:920分	1日目:355分 2日目:375分 合計:730分	午前:150分 午後:155分 合計:305分	専門科目:140分 社会福祉士との共通科目:135分 合計:275分
合格基準	一般問題を1問1点、臨床実地問題を1問3点としたとき、以下の①②③の全ての合格基準を満たした者が合格となる。 ①必修問題については、160点以上／200点 (但し、必修問題の一部を採点から除外された受験者にあつては、必修問題の得点について総点数の80%以上とする。) ②必修問題を除いた一般問題及び臨床実地問題については、それぞれ平均点と標準偏差を用いた相対基準以上の得点(例年6～7割) ③禁忌肢問題選択数が合格発表時に公表される数以下(例年3問)	以下の全てを満たすことを合格基準とする。 ①平均点と標準偏差を用いた相対基準以上の得点であること。 ②必須問題について、全問題への配点の70%以上で、かつ、構成する各科目の得点がそれぞれ配点の30%以上であること。	配点を1問1点とし、合格発表時に公表される合格水準以上(例年、総合点120点(60%))以上の者	総得点163点に対し、総得点の60%程度を基準とし、問題難易度で補正する。(配点は1問1点である)、かつ、無得点科目が無いこと。
試験の実施状況 (平成27年度)	第110回 受験者数 9,434人 合格者数 8,630人 合格率 91.5%	第101回 受験者数 14,949人 合格者数 11,488人 合格率 76.85%	第30回 受験者数 19,086人 合格率 8,538人 合格率 44.7%	第18回 受験者数 7,173人 合格者数 4,417人 合格率 61.6%